

一般質問

四議員により五質問が行われました。

紅葉山の景観と整備について

柳澤清次議員

議員 紅葉山は、大正八年梨本宮様の御滞臨を記念して、町の公園としたものです。最近では竹がはびこり、県の補助事業で町の景観を良くするために竹林の整備を始めました。名勝楽山園は、広い昆明池を堀り築山に東屋を建て、紅葉山・連石山・熊倉山の借景を巧みに利用して庭園美を盛り上げる造りになっています。

地主に任せておいたのでは、あつという間に竹藪になり元に戻ってしまいますので、町としては、どのような考えがありますか。

さらに地域住民の皆さんの協力による共助で、地域の協力を活用して地権者で紅葉山の環境整備を図っていただきたいと考えます。

また、紅葉山の借景として大切な景観を形成していますが、最近竹がはびこり借景を損

町長 紅葉山や連石山は、

これからの地域づくりを進めてほしいと考えます。

“ゆつくり甘楽町”には観光農園が必要

長岡敬一議員

議員

冬から春にかけては「いちご狩り」夏から秋には「ぶどう狩り」秋から冬には「リンゴ狩り」と四季をおとして甘楽町を訪れる観光客をもてなす観光農園の建設を提案します。

できる観光農園や農産物直売所が開設できるような応援をしたいと思います。

甘楽町は「楽山園」を核とした「歴史的風致維持向上計画」を策定、歴史的遺産を基にした観光開発を行うおうとしています。観光資源を生かした、もう一方の観光の目玉に甘楽の特産を味わい、おみやげにしても例えば更に甘楽の印象も強くなるというものです。農業振興にもつながります。

つながると思います。

町では、歴史的価値の高い建造物の保存や活用方法を考えながら、文化財を活かした観光の基礎ができつつあります。観光に訪れた方ができるだけおもてなしをし、ゆつくり楽しんでいただくことが、良い印象を与え、リピーターの確保につながると認識していますので、これからも甘楽の特産品の普及拡大に努めたいと考えます。

町長

甘楽町の果樹栽培農家のほとんどが市場や農協、直販所などに出荷し販売しています。これから

の農業は、生産農家が農産物に自分で値段をつけて売る農業が必要と考えていますので、消費者に直接販売

御殿の復元を望む

吉田恭一議員

議員

楽山園は藩邸の一部として作られたもの

てきた名勝楽山園の復元整備も完成間近になりました。

からこそ、存在価値が増します。楽山園と藩邸の一部が復元できた後も、完全な藩邸復元を目指したいものです。

御殿の復元なくして、事業の完成はありえません。御殿の復元にはさまざまなハードルがあると聞いています。困難をのりこえ、多くの町民の願いである御殿の復元に向けて、積極的に行動を始めたいかがでしょうか。

御殿の復元は大きな課題であり、多くの町民の願いとして、復元の可能性を探るための調査、研究、資料収集に着手したいと考えています。取り組みは、長い道程になるだろうと推測されますが、復元模型の作成やコンピュータ・グラフィックス(CG)を活用し、往時の藩邸の姿を目に見える形でお示しできれば、復元に向けた動きをさらに具体化できると考えていますので、ご協力をお願いします。



国名勝 楽山園